

地域包括支援センター名称	実施日	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
やすらぎミラージュ	H30. 9. 20	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、医療機関、介護サービス事業者、介護家族の会、自動車販売会社等	38人	【テーマ】 高齢者の自動車運転について考える 【目的】 ・警察署の講話により、高齢者の交通事故防止について、地域で情報共有を図る。 ・交通ルールを守り、認知症の方も安全に過ごせるよう、安心な街づくりについて検討する。	・高齢者について、「運転が出来る、出来ないの明確な判断基準はない。どこで線を引くか悩ましい。」等の意見があった。 ・認知症高齢者への対応、特に運転時の対応方法について、専門職の意見を伺うことで、どのような対処方法があるか学べる機会となった。
大泉北	H30. 10. 19	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、薬局、介護サービス事業者等	22人	【テーマ】 地域のネットワーク構築について 【目的】 ・地域包括支援センター業務の周知を図る。 ・医療と介護の相談窓口、訪問支援事業などの業務および地域ケア個別会議の報告を行う。	・地域ケア個別会議については、「認知症」「単身」というキーワードで取り上げたが、近隣にも該当する方が一定程度いるという意見があった。 ・見直し後の地域包括支援センターについて周知を行うことができ、理解の深化を図ることができた。
大泉学園	H30. 6. 22	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、消防署、介護サービス事業者、配食サービス事業者、生活支援員等	68人	【テーマ】 地域のネットワーク構築について 【目的】 ・地域包括支援センターの業務について周知するとともに、地域課題について共有・考察する。 ・いわゆる「8050問題※」について、グループワークを実施する。 ※8050問題：高齢者と同居する長期のひきこもりや精神疾患をもつ子どもがともに高齢化する問題	・「8050問題」について、色々な立場から多様な意見を出し合えた一方で、「どこまで踏み込んで良いか分からない」という思いから、地域包括支援センターに指針を示してほしいという意見もあった。 ・消防署より、夜間、緊急を要さない要請があるため、夜間対応型訪問介護等のサービスがあるのであれば、是非区報に載せて区民に周知してほしいとの意見があった。
南大泉	H30. 9. 19	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、介護サービス事業者・ボランティア関係者等	35人	【テーマ】 地域包括支援センターの機能と役割について 【目的】 ・[地域包括支援センターの機能と役割]について改めて説明機会を設ける。 ・センター職員全員の顔と役割を知っていただくため、各担当から業務内容の説明を行う。	・「改めて多岐に渡る業務をしていることが理解できた。」、「名称はわかりづらいのではないか。」などの意見があった。 ・今後地域での支え合いや課題の整理がより必要になる。顔の見える、相談し合える関係づくりがますます重要である。
大泉	H30. 10. 10	民生委員、訪問支援協力員、介護サービス事業者、敬老館、生活支援員等	44人	【テーマ】 地域のネットワーク構築について 【目的】 ・30年度上半期の大泉地域包括支援センター活動報告を行う。 ・「地域包括支援センターと関わった事例について」をテーマに、グループワークを実施する。	・民生委員や訪問支援協力員から、区から地域住民に対する情報が少ないとの意見があった。 ・「元気な高齢者の予防、夫婦でリハビリができる地域の交流の場がない。」等の意見があった。